



ご挨拶

同志社校友会群馬県支部の皆様、今年も新型コロナウイルスの影響で対面行事は実施が叶いませんでした。コロナ感染状況を事前に予想しながら準備を進めたものの、結果的に群馬県支部の行動がコロナウイルスに先読みされているのではと思うほどタイミングが悪く、誠に無念な気持ちで今年も終わる事になりました。

一方 スポーツの世界では、直近のサッカーワールド大会で悲願のBest8には達しませんでした。新しい時代・新しい景色を見せてくれ、監督や選手達も新しい時代を感じた様です。来年は野球やラグビーのワールド大会が予定されており、スポーツの世界ではコロナウイルスは人間の活力にすっかり戻り込んでいるかの様にも感じる次第です。

さて、現体制の役員は会員の皆様の書面決議での承認により、1任期を終了し2期目に入っております。群馬県支部のモットーとしての「親睦を深める」対面行事を、一刻も早く実現したく来年以降も活動を継続する予定です。コロナに何度阻止されようともくじけず前に進みます。母校愛に燃えたい方がいらっしやいましたら、ご遠慮なくご意見など承りたいと存じます。我々役員一同の励みにもなりますので、ぜひご一報をお待ちしております。

群馬県支部 支部長 内田隆雄

春の集い

今年の「春の集い」は時期をずらして「初夏の集い」に変更して計画したのですが、コロナもさるモノで案内発送の時期に第5波が高留まり状態にあった関係から、会員の皆様の健康面を第一優先として「中止」の判断をせざるを得ませんでした。演奏予定で準備して頂いた鈴木さんと木村さんには、またもお断りの連絡をするだけになりましたが、決して諦めていないという意思だけはお伝え続けております。

令和4年度支部総会

令和4年の支部総会は10月9日(日)開催として計画し、準備を進めてきましたが、コロナの第7波の拡大で無理と判断し、会員皆様宛に「令和5年度同志社校友会群馬県支部総会延期のお知らせ並びに書面決議のご依頼について」の文書を送付いたしました。

現支部長就任以来、「総会」「春の集い」「初夏の集い」を全く開催できていないため、会員相互の交流が希薄になってしまっているのではないかと不安を募らせ、この憂慮すべき状況を払拭したいとの思いから、支部長はじめ役員一同、時期を遅らせてでも総会を開催したいと検討を進めて参りました。検討の結果、12月11日(日)に総会・忘年会の開催を決定し、講演をお願いしていた講師の方との打合せも完了してまいりました。

しかし、新型コロナ感染拡大の第8波への突入が見込まれ、残念ながら令和4年の総会も開催を断念せざるを得ませんでした。報告が遅れましたが、文書総会決議の結果は以下の通りで3議案とも原案通り承認されました。

- ・「総会書面決議に関する文書発送数」 207通
- ・「返信回答数」 75通
- ・「議案」：活動報告・会計報告・役員改選 3議案とも全回答『賛成』でした。

特に、役員改選については、総会案内文書でご説明したとおり、改選後新型コロナ禍のため殆どの事業を実施することができなかった反省を踏まえ、全員再任を承認して頂きました。会員皆様のご協力に感謝申し上げます。

All Doshisha募金

「同志社2025All Doshisha募金」につきましては、2022年9月30日現在の募金状況で群馬県の募金は、個人・団体・法人含めて合計16,143千円となっております。

会員の皆様方にはこれまでご協力をいただきましたこと、この欄をお借りして改めて感謝申し上げます。なお、団体は、校友会群馬県支部と同窓会群馬支部合同での寄付となっております。

新型コロナウイルス感染の影響で、「春の集い」や秋の「総会」といった支部のメイン行事が3年に亘り中止を余儀なくされ、依然として積極的な募金活動の展開が困難な状態が継続しております。

「同志社2025All Doshisha募金」の期間は、2026年3月31日までとなっております。

会員の皆様方には、今後とも折に触れ募金のお声掛けをさせていただきますが、引き続き継続的なご協力をどうぞ宜しくお願い申し上げます。



平成卒交流会

今年は昨年・一昨年に続き、コロナ感染拡大防止の観点から「平成卒交流会」の開催は見送りとさせていただきます。来年もコロナ禍の状況を考慮しながら引き続き「平成卒交流会」を計画致しますので、ご興味のある方や皆様方の中で、平成卒で推薦したい方等いらっしやいましたら、是非幹事三輪まで連絡をお願いします。

メールアドレス：k_miwa@gs21.co.jp

「平成卒交流会」とは、2016年に校友会若手有志にて結成された平成卒以降の若手(約30人)で構成されている群馬県支部独自の組織で、同志社時代の共有だけでなく、異業種交流による参加者の積極的な情報交換にも力を入れています。コロナ禍が早く終息し皆様と実際にお目にかかり、昔話に花を咲かせられる日が早く来ることを願っております。

尚、過去10回の開催模様は、写真付きで「同志社校友会 群馬県支部」HP上の「活動報告」にて掲載しております。



新島研究会

(1) 総括

本年度の活動は、コロナに負けず当初の予定通り8回開催しました。令和元年以来途絶えていた新島襄先生の足跡を辿る研修旅行も決行することができました。10月には東京新島研究会の支倉さん、津田梅子の家系の津田道夫さんをお招きして有意義なお話も伺いました。また、11月には安中散策を歴史に造詣の深い安中市のボランティアの方の説明を伺いながら安中市の魅力を再発見する事が出来ました。

(2) 新島研究発表

- 1月15日 「新島襄不肖の教え子増野悦興(ましのよしおき)」 (角田)
- 「幕末から明治新政府の立役者と同志社創立の関わり」(小泉)
- 2月19日 「名久多(なきた)教会と有馬家の人々」 (市川)
- 「津田仙～同志社大学創立者・新島襄との交流」
- (東京新島研究会・津田道夫氏からの特別寄稿)
- 4月16日 「湯浅(徳富)初子」 (樽見)
- 「大石誠之助」 (入江)
- 6月18日 「深井英五の生涯と基督教」 (狩野)
- 「新島襄の2回目の米国訪問と滞在」 (田島)
- 10月15日 「津田仙と新島襄」 (東京新島研究会・津田道夫)
- 12月17日 「新島襄の苦難」 (松村)
- 「新島襄のいう良心とは。その背景は。」 (中山)



(3) 「松山・今治」旅行(9月4～6日)

今回の旅行は、女子大の方3人を含め総勢11名の2泊3日の旅でした。初日の午前中に高崎から羽田・松山空港経由で道後温泉まで行き、道後温泉名物の「鯛めし」を食べ、午後から松山市内の「松山城」、司馬遼太郎の「坂の上の雲ミュージアム」、国の重要文化財のフランス風洋館「萬翠荘」等を見学しました。その日は「大和屋本店」に宿泊し、新島先生も入浴された「道後温泉本館」にも行き、久々の温泉気分を堪能しました。

二日目は同志社神学部出身の牧師 上島一高氏の「松山教会」に行き、アメリカンボード会衆主義の松山で一番古いプロテスタント教会の話をお聞きしました。同志社出身の二宮邦次郎が1886年に創設した「松山女学校(現 東雲学園)」に伺い、当時の資料や現存している館を見学しました。その後、「今治タオル美術館」で昼食を取り、「今治教会」に行き同志社神学部出身の木谷誠牧師の応対で、今治の町も案内して頂きました。夜は「同志社今治校友会」との交流で大いに盛り上がりました。

最終日は「しまなみ海道」を渡り「亀老山展望公園」「村上海賊ミュージアム」「大山祇神社」「生樹の御門」「平山郁夫美術館」を観て福山駅から帰りました。

(4) 安中散策(11月19日)

午前9時半に集合し「安中教会」に行き、今年の春に赴任された朝日研一郎牧師の講和を拝聴しました。その後「旧碓氷郡役所」、井伊直政の正室が眠る「大泉寺」、柏木義円の墓がある「西広寺」、樹齢1000年の榎のある「熊野神社」、藩士の心身鍛錬のため碓氷峠まで走らせた日本マラソンの碑「安政遠足の碑」「武家屋敷」等々約10ヶ所を散策し、最後に昼食をして解散しました。

2023年計画案 (来年の主な校友会行事です。奮ってご参加下さい。)

行事内容	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	記事
春の集い			○										
ゴルフ	状況により計画中												
平成卒交流会	状況により計画中												
旅行	状況により計画中												
総会・懇親会										○			

群馬県支部「春の集い」のお知らせ

3月12日(日)に「春の集い」を計画しております。

詳細は別途案内を参照ください。



総会・懇親会出席のお願い

同志社に学んだ校友が、一堂に会し、旧交を温める場です。是非、総会・懇親会にご参加下さる事をお待ちしています。

2023年10月22日(日) (マリエール高崎)